

## わが職場

大川広域消防本部は、香川県の東部に位置し、さぬき市、東かがわ市で構成された組合消防本部です。北部一帯は、白砂青松の美しい海岸線に恵まれた風光明媚な瀬戸内海国立公園に属し、南部に連なる阿讃山脈から端を発した大小7つの河川があまたの支流を形成し、

温暖な気候に育まれた、自然環境豊かな圏域です。また、高松自動車道を始め、国道11号線・県道バイパスなどが横断し、瀬戸大橋、明石海峡大橋を介して、山陽方面や京阪神方面へ2時間程度でアクセスできる、交通の要所となっています。

平成28年3月、新たな消防防災の活動拠点として建設を進めてまいりました、大川広域消防本部・東消防署新庁舎が、消防救急デジタル無線及び高性能消防指令センターの完成と併せ竣工しました。この新庁舎は、大規模地震災害時にも防災拠点と

しての機能を維持できる強度の耐震性を有し、また、自然エネルギーの有効活用や省エネルギー化を図るため、太陽光発電設備やLED照明器具の導入により、経済性や環境にも配慮した庁舎となっております。更に、消防職員の各種訓練施設に加え、圏域住民の体験型施設も兼ね備えた訓練棟を併設し、有機的な災害活動に万全を期すことが可能となります。

平成28年中に発生した圏域の災害は、火災29件、救助55件、救急3、975件です。この他に、平成28年4月14日に発生した熊本地震へも緊急消防援助隊として延べ15名の消防職員と延べ4台の車両を派遣しました。

このように消防職員はその職務の特性上、活動には常に危険が伴います。また、凄惨な災害現場での体験により精神的ショックやストレスを受け、身体や心に不調をきたすおそれもあります。厳しい状況下で活動する消防職員が、心身ともに健康を保ち、適切に職務を遂行

できるよう、安全管理の基本や取り組み方、健康管理・メンタルヘルス対策等を行う必要があります。

対策としては、定期的

に統括安全関係者会議及び衛生委員会を開催し、職員の安全管理や健康促進等について多くの職員から意見を求め、議論を行うようにしています。また、安全管理者や衛生管理者の育成のためには、消防庁等の消防ヒヤリハットデータベースや災害事例を活用した訓練及び教育を実施し、消防大学校、県消防学校等の研修を受講しています。他には香川県下の9消防本部がメンタルヘルス支援に関する協定を締結し、ケアが困難な事例が発生した場合に備えています。

まだまだ十分とはいえませんが、安全及び衛生管理について留意し、圏域住民の期待に添える消防活動を実践しています。

大川広域消防本部

総務課